

町田市里山環境活用保全計画
リーディングプロジェクト進捗状況確認
シート(2026年2月現在)

※評価について
◎:当初予定以上 ○:当初予定どおり △:当初予定を下回る ×:当初予定を大幅に遅れている

		2024年度					2025年度				
エリア	プロジェクト	取組	実施計画	実施内容	評価	今後の予定	実施計画	実施内容	評価	今後の予定	備考
小山田エリア	1	里山を身近に体感するための場の整備	①交流回遊拠点を整備します	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設整備の事業手法の検討 ・策定した基本構想について、地域住民を対象とした意見交換会を開催し、拠点施設を活用した事業などについて意見を伺いました。 ・拠点施設の整備に関する都市計画上の制限について条件整理を行い、法令に即した施設の規模や整備場所などについて方向性を決めました。 	○	・事業者からの提案を精査し事業者が参画しやすい環境を整えます。	事業者の選定	①交流回遊拠点を整備します	○	・2024年度に実施したサウンディング調査の結果を受けて、木材の資源量調査を実施しました。	・引き続き、サウンディング調査で得られた事業者からの提案を精査し、事業者が参画しやすい環境を整えます。
			②里山環境を活用する場を整備します	<ul style="list-style-type: none"> 里山環境を活用する場の選定、活用手法の検討 ・小山田エリアの作業路整備について、道路の線形を確定し、整備に影響する樹木の調査と測量を実施しました。(重点事業1「必要なインフラ整備」の再掲) ・新たな市民団体と10月に小山田エリアの未利用の市有山林約13,000㎡の活用について協定を締結しました。(重点事業「山林や竹林の再生・整備」の再掲) 	○	・作業路整備に向けた設計を実施します。 ・地域団体の活動継続に向け、必要な支援を行います	事業者の選定	②里山環境を活用する場を整備します	○	・小山田エリアの作業路整備について、道路の線形や勾配等について沿線地権者との調整を進めました。 ・小山田エリアの未利用の市有農地(現況山林)約1,600㎡について、NPO法人が、生き物の生息環境保全のための整備活動を始めました。 ・小山田エリアの市有農地(現況竹林)約2,700㎡について、近隣の畑を耕作している農業者が、竹林整備とタケノコや幼竹の生産収穫を始めました。	・作業路整備に向けた設計を実施します。 ・団体の活動の継続に必要な支援を行います。
			③木材を活用できる場を提供します	<ul style="list-style-type: none"> 木材活用の事業手法の検討 ・拠点施設に設置する木材を活用できる場(工房)の整備について、関連する事業者へのサウンディング調査を実施し、事業者参画の検討につながる提案を受け付けました。(重点事業1「参画しやすい環境の整備」の再掲) 	○	・事業者からの提案を精査し、工房の整備に向け必要な調査を実施します。	事業者の選定	③木材を活用できる場を提供します	○	・資源量調査の結果をもとに、基本構想に掲げる拠点施設の機能別方針「木材や竹材を資源として活用する」に関して、木材流通や活用に関係する事業者と意見交換を行いました。	・引き続き、意見交換で得られた事業者からの提案や意見を精査し、事業者が参画しやすい環境を整えます。
	2	農を活用した地域の賑わいゾーンの創出	—	実施	・地域の団体と協議を行いました。実施には至りませんでした。	△	・引き続き地域団体と調整を行います。	実施	・地域団体が、小山田エリアの農園で、収穫体験や生きもの観察のイベントを実施しました。	○	・引き続き、地域住民や団体と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。
	3	地域の課題解決につながる取組の推進	①環境の保全につながる事業を実施します	<ul style="list-style-type: none"> 内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う ①環境の保全につながる事業の実施 ・「鶴見川源流保水の森」において、11月に小山田小学校の児童を対象に自然環境学習会を開催しました。 ・新たな市民団体が、小山田エリアの市有山林を拠点に活動をはじめました。(重点事業2「新たな担い手の確保」の再掲) ・里山で活動するNPO法人と連携して、鶴見川源流保水の森のナラ枯れの状況調査を実施し、散策や活動に支障がある枯損木を伐採しました。(重点事業1「山林や竹林の再生・整備」の再掲) 	○	・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。	内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う	①環境の保全につながる事業の実施	○	・NPO法人が、鶴見川源流の森において、小山田小学校の児童を対象に、どんぐり植えや苗木の植樹など自然環境学習会を開催しました。 ・NPO法人が、植樹した森の下草刈りや、水路の補修、休耕田を活用した調整池の整備を実施しました。	・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。
			②(仮称)里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施します	<ul style="list-style-type: none"> ②里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施 ・地域住民や市民団体と実施に向けた協議を行いました。2024年度内の実施には至りませんでした。 	○	・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。	内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う	②里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施	○	・地域住民や市民団体と実施に向けた協議を行いました。2025年度内の実施には至りませんでした。	
			③散策ルートの再整備とマップの作製に取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> ③散策ルートの再整備 ・「町田市総合健康づくり月間」のイベントとして「里山健康散策花のある道づくり ヤブカンゾウの苗植え体験」を実施し、鶴見川源流保水の森の散策路沿いの景観づくりを目的に、在来種であるヤブカンゾウの苗を植えました。 ・鶴見川源流保水の森において、里山散策や保全活動に支障となる枯損木を伐採しました。(再掲) 	○	・枯損木の伐採や散策路沿いの景観づくりを継続し、来訪者が安全に里山を楽しむことができる環境を整えます。	内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う	③散策ルートの再整備とマップの作製	○	・NPO法人が、鶴見川源流の森の散策路沿いの景観づくりを目的に、在来種であるヤブカンゾウやノカンゾウの苗植えと散策のイベントを実施しました。 ・NPO法人が、鶴見川源流の森の散策路沿いの枯損木の伐採や倒木の撤去、草刈を実施しました。 ・鶴見川源流の森の散策マップについて、NPO法人と協議を始めました。	・枯損木の伐採や散策路沿いの景観づくりを継続し、来訪者が安全に里山を楽しむことができる環境を整えます。 ・小山田エリア内の散策マップの作製に向けて、地元住民やNPO法人と調整を進めます。

エリア	プロジェクト	取組	実施計画	実施内容	評価	今後の予定	実施計画	実施内容	評価	今後の予定	備考
小野路エリア	1 竹林の再生と活用	—	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・小野路エリアで活動する複数の市民団体において、竹林の再生や発生材の活用を図りました。 ・学校法人玉川学園と連携し、放置竹林に関する課題を周知し、課題の解決を図ることを目的としたイルミネーション企画「竹あかりが息づく気づきの丘」を実施しました。(重点事業1「多様な主体との連携による里山環境の再生」の再掲) ・小野路エリアで活動する市民団体が加工した市内産メンマを、市職員を対象に販売しました。あわせて、購入者に対しメンマおよび竹の活用に関するアンケート調査を実施しました。(重点事業1「多様な主体との連携・協働による里山資源の活用」の再掲) ・「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用し、協議会に参加する都市部自治体の住民を対象とした現場体験事業の実施に向け、小野路エリアの市民団体と協議しました。(重点事業1「多様な主体との連携・協働による里山資源の活用」の再掲) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体が実施する事業の継続に向け、必要な支援を行います。 ・本企画をスタートアップに、同法人と連携して放置竹林の課題解決に取組みます。 ・メンマ販売でのアンケート調査を参考に、里山資源の活用について、情報収集や調査研究を行うとともに、情報の発信など普及・啓発に取り組めます。 ・2025年度に市民団体と協働して「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用した現場体験事業を実施します。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の市民団体が、竹林の再生や発生材の活用を図りました。 ・市民団体が、市内事業者と協働で加工した市内産メンマ(幼竹漬け)販売を開始しました。 ・「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会の枠組みを活用し、協議会に参加する都市部自治体の住民を対象とした現場体験事業を、東京都及び市民団体と連携し実施しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体が実施する事業の継続に向け、必要な支援を行います。 ・メンマ(幼竹漬け)販売でのアンケート調査を参考に、加工品の改良や情報の発信などの支援を行います。 ・引き続き、市民団体と協働して「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会の枠組みを活用した現場体験事業を実施します。 	
	2 地域の課題解決につながる取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①散策ルートを再整備します ②(仮称)里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施します 	内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのうち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> ①散策ルートの再整備 <ul style="list-style-type: none"> ・小野路エリアの奈良ばい谷戸において、散策者の安全を目的に散策路沿いの枯損木を伐採しました。 ②里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・12月に「小野路フットバスツアー&お掃除大作戦」と称し、町内会と協働し、里山散策と清掃活動を実施しました。(重点事業2「地域・団体等と連携した取組」の再掲) ・「奈良ばい谷戸」において、田植えや稲刈り体験、さつま芋掘りやタケノコ掘りなど季節ごとの体験イベントや里山の散策イベントなどを実施しました。 ・小野路エリアで活動する市民団体において、幼竹を活用したメンマづくりや竹灯籠づくり、流しそうめん台づくりなど竹を活用したワークショップを実施しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者が安全にまちだの里山を楽しむことができる環境を整えます。 ・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。 	内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのうち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> ①散策ルートの再整備 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人が、奈良ばい谷戸の散策路沿いの倒木撤去や草刈を実施しました。 ②里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体が、小野路エリアの農家と連携し、里山あそびや散策、農業体験などを組み合わせたイベント「小野路さとやま農さんぼ」を実施しました。 ・NPO法人が、奈良ばい谷戸において、田植えや稲刈り体験、さつま芋掘りやタケノコ掘りなど季節ごとの体験イベントや里山の散策イベントなどを実施しました。 ・NPO法人が、奈良ばい谷戸の森林の更新と景観の改善を目的とした皆伐を実施しました(約1,500㎡)。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者が安全にまちだの里山を楽しむことができる環境を整えます。 ・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。 	
相原エリア	1 連携・協働の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の課題解決や里山の活用につながる体制づくりに取り組みます ②地域で活動する若い世代との連携・協働のしくみづくりに取り組みます 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の指定管理者やエリア内の法人や団体において、里山環境や資源を活用した取組が行われましたが、各団体をつなげるには至りませんでした。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体との意見交換を継続し、必要に応じた支援を行います。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会の枠組みを活用した現場体験事業の実施を通じて、公共施設の管理者と連携・協働する体制を構築しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各団体との意見交換を継続し、必要に応じた支援を行います。 	
	2 多様な主体の連携による里山活用の推進	—	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用し、協議会に参加する都市部自治体の住民を対象とした現場体験事業の実施に向け、相原エリアの指定管理者と協議しました。(重点事業1「多様な主体との連携・協働による里山資源の活用」の再掲) ・相原エリアにおいて、山林を所有する一般財団法人が境川源流周辺のハイキングコースを整備しました。(重点事業1「山林や竹林の再生・整備」の再掲) また、地域の小学生を対象に林野体験学習を実施しました。 ・相原中央公園において、ノルディックウォークのイベントを実施し、地域の歴史に触れ里山を散策する機会をつくりました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年に指定管理者と協働して、「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用した現場体験事業を実施します。 ・公共施設の指定管理者や団体、大学などが行う事業が継続できるよう必要な支援を行います。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会の枠組みを活用し、協議会に参加する区部の住民を対象とした現場体験事業を、東京都及び施設管理者と連携し実施しました。 ・山林を所有する一般財団法人が、境川源流周辺の樹木の伐採やハイキングコースの整備を行いました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き施設管理者と協働で、「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会の枠組みを活用した現場体験事業を実施します。 ・公共施設の施設管理者や団体、大学などが行う事業が継続できるよう必要な支援を行います。 	
三輪エリア	1 地域の取組や魅力・価値を共有できる関係づくり	—	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・三輪エリアで活動するホームタウンチームと小野路エリアで活動する市民団体協働して、放置竹林の課題解決に向けた取組を実施しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、三輪エリアにおける取組を支援します。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人が、三輪緑地で「昆虫の生態調査および昆虫食体験会」を開催しました。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の取組や魅力、価値を共有する機会を設けるなど、関係づくりに取り組みます。 	